

2011年11月15日

各位

旭化成ケミカルズ株式会社

## 研究開発棟「川崎イノベーションセンター」の新設について

～横断的な素材開発による世界最先端の拠点を目指して～

旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：坂本 正樹）は、このたび、川崎製造所内にモノマー、高機能ケミカル領域の研究開発の強化を目指し、研究開発棟「川崎イノベーションセンター」を新設することを決定し、本日起工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

川崎イノベーションセンターでは、共通技術の融合と高度化を図り、モノマー・触媒、合成ゴムおよび高機能ケミカル分野での新技術開発、新事業創出を加速していきます。

### 1. 新研究開発棟の概要

- (1) 名称 川崎イノベーションセンター
- (2) 立地 神奈川県川崎市（川崎製造所内）
- (3) 工期 着工 2011年11月15日
- (4) 運用開始 2012年9月（予定）
- (5) 投資額 約20億円

### 2. 目的・特長

旭化成グループの中期経営計画「For Tomorrow 2015」では、グローバルで競争優位にある事業を積極的に展開することに加え、「環境・エネルギー」「住・くらし」「医療」関連分野での拡大を進めています。

当社では、グローバル事業として、アクリロニトリル（AN）、溶液重合法スチレンブタジエンゴム（S-SBR）、およびHDI系ポリイソシアネート「デュラネート™」などの事業を強化しています。また、「環境・エネルギー」関連領域の拡大として、触媒、ポリマー設計、界面制御、膜システム技術などの研究開発に積極的な資源投入を行い、新規事業創出を目指しています。

新設する川崎イノベーションセンターは、横断的な素材開発の研究体制を構築し、ANやMMA、合成ゴムの触媒・プロセス技術や「デュラネート™」などの機能性コーティング製品革新技術、膜システム技術などの融合と高度化を進め、旭化成グループとの連携も強化します。これにより、顧客ニーズへの迅速かつ的確な対応を図り、事業化までを視野に入れた世界最先端の研究拠点を目指します。

なお、川崎イノベーションセンターは、省エネ型の低風速ドラフトチャンバーや照明機器、長期耐久性・防汚性に優れた光触媒コーティング「デュラ光™」を使用した外装塗装など、最新の省エネ技術を採用し、環境に配慮した設計を取り入れています。

以上



旭化成ケミカルズ 川崎イノベーションセンター 外観

【本件に対するお問い合わせ先】

旭化成ケミカルズ株式会社 研究開発総部

電話：03-3296-3205

旭化成株式会社

広報室

電話：03-3296-3008